

### 3 参加体験型学習例

寄り添う言葉

#### 学習例 1 決めるのはだれ？

対 象 教職員・保護者

ねらい

- ・日常生活における、人権が守られたり侵害されたりしている言葉がけについて考える活動を通して、子供への関わり方について振り返る。

留意点

- ・子供の人権を尊重した見方、接し方をしているか、気付かないうちに侵害していることはないか振り返ることができるようにする。

進め方

流れ	展開と内容
導入	アイスブレイク
展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・人権を意識した関わりについて考えましょう。</li></ul> <p>【ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・【資料】を読んで気になる部分に線を引きましょう。</li><li>・また、気になった理由を考えましょう。</li><li>・考えたこと、感じたことを伝え合いましょう。</li></ul> <p>【ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子供はどんな気持ちで親の言葉を聞いているのでしょうか。</li><li>・感じたことを伝え合いましょう。</li></ul> <p>【ワーク3】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・親の言葉を、自分だったらどのような言葉に変えますか。</li><li>・考えた言葉をグループで紹介しましょう。</li></ul>
まとめ	<p>【ワーク4】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・どんなことに気付き、どう考えましたか。</li><li>・グループ又は全体で共有しましょう。</li><li>・これからの生活にどんなことが活かせそうですか。</li></ul>

【資料】

子 今度の土曜日の夜、Bさんと一緒に〇〇パークに行ってもいいかな？

親 2人だけで行くの？子どもだけなんて、だめに決まってるでしょ。

子 Bさんの親はいいって言ってるのに、なんで私はだめなの？

親 Bさんの家はよくても、わが家はだめ。夜遅くから出かけるなんて、だめに決まってるでしょ。男の子ならいいけど、あなたは女の子。何かあったらどうするの？

子 バスに乗っていくツアーだし、添乗員さんもいるから大丈夫。スマホも持っているし、すぐに連絡をとれるようにしておくから。

親 うそばかり。いつも連絡とれないじゃない！それに、毎晩スマホを見ている時間があるんだったら、勉強しなさいよ。テストも近いでしょ。あなたは勉強ができないんだから。

子 テスト勉強、やっているよ。

親 うそばかり。お兄ちゃんは親の言うとおりに勉強していたから、テストの点が良かったの！親の言うとおりにしていれば間違いない。だから今回のツアーはやめときなさい。それでも行くなら、お小遣いはなし。スマホの料金も払いません。

子 なんでそこまで親が全部決めるの！

ワークシート「決めるのはだれ？」

- 1 【資料】を読み、気になる部分に下線を引きましょう。気になった理由を考えましょう。
- 2 子供はどんな気持ちで親の言葉を聞いているでしょうか。

- 3 親の言葉を、自分だったらどのような言葉に変えますか。

- 4 どんなことに気づき、どう考えましたか。

## 学習例2 あなたはどう思いますか？

対 象 小学生から中学生

ねらい

- ・日常生活の中で起こっていることについて、それぞれの立場の人の発言について気持ちに寄り添ったり客観的に考えたりすることを通して、いじめについて判断力を養う。

留意点

- ・学習者の実態を把握し、グループ作りなどに配慮する。
- ・それぞれの立場へ返す言葉を考え、自分の考え方や認識を自覚できるようにする。

進め方

流れ	展開と内容
導入	アイスブレイク
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある日のAさんの様子が気になりました。</li> </ul> <p>【ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つぎの4人の話を聞いて、考えましょう。</li> </ul> <p>【ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人の話を聞いて、あなたはどう思いますか？4人に返す言葉を書きましょう。（誰か1人に向けて書いてもよい。）</li> <li>・ワーク1で書いたことをグループで発表しましょう。</li> <li>・グループで話し合ったことを、紹介しましょう。</li> </ul>
まとめ	<p>【ワーク3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことに気付き、どう考えましたか。</li> <li>・グループ又は全体で共有しましょう。</li> <li>・これからの生活にどんなことが活かせそうですか。</li> </ul>

## ワークシート「あなたはどう思いますか？」

ある日、教室でしょんぼりしているAさんを見ました。暗い顔をして心配です。  
声をかけようかどうか迷っています…Aさんはどうしたのでしょうか。

1 つぎの4人の話を聞いて、考えましょう。

Aさん



「悪口を言われたり、たたかれたりして、とてもいやな気持ちなんだ。何も自分はしていないのに。先生に言うとしかえしされるかもしれないし、どうしたらいいかわからないよ。」

Bさん



「AさんがCさんたちから悪口を言われていたよ。でも、言われている時に笑っていたから、大丈夫だよ。『やめなよ！』って言うと、自分も悪口を言われそうだからな…。」

Cさん



「いじめてなんかいいよ。だって、Aさんから先にいやなことを言ってきたんだもん。何回も言ってもやめないから、たたいただけだよ。自分はAさんに注意をただけさ！Aさんに原因があるんだから。きみだってAさんに問題があると思わない？」

Dさん



「Cさんが、いろいろな人にAさんの悪口を言っていたから、『そんなこと、みんなに言うことじゃないよ。』って言ったんだ。Aさんも、相手がいやな思いをしているのがわからないことがあるから、『人にいやなことを言うのはよくないよ。』って伝えたよ。」

2 4人の話を聞いて、あなたはどう思いましたか？4人に返す言葉を書きましょう。

Aさんへ



Bさんへ



Cさんへ



Dさんへ



3 どんなことに気づき、どう考えましたか。

## 学習例3 しつけ？虐待？

### 対象 保護者

#### ねらい

- ・ワークシートの事例について、「しつけ」か「虐待」かを協議する活動を通して、保護者の虐待に関する理解を深めるとともに、虐待の発生予防・早期発見への意識を高める。

#### 留意点

- ・虐待が疑われる児童や保護者がいる場合には、十分な配慮をする。
- 「児童虐待防止推進月間」(11月)に厚生労働省から配布される資料や、厚生労働省のホームページに掲載されている虐待相談件数等のグラフ等を活用する。
- ・「虐待かもと思ったら189(いちはやく)」のポスターを掲示し、電話番号を周知する。
- ・「しつけ」なのか「虐待」なのかを決めるための話し合いにならないようにする。ワークシートをもとに話し合う中で、保護者が日頃の子育てを振り返ったり、愛情のある叱り方について考えたりできるようにする。



#### 進め方

流れ	展開と内容
導入	アイスブレイク
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しつけ」と「虐待」の違いについて考えましょう。</li> </ul> <p><b>【ワーク1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート1①～⑧の内容は「しつけ」「虐待」どちらだと思いますか。当てはまるところに○を付けましょう。どちらか迷う場合には、「分からない」に○を付けましょう。</li> <li>・どこに○を付けたか、理由を含め、グループ内で紹介し合いましょう。</li> </ul> <p><b>【ワーク2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは、「しつけ」と「虐待」の違いをどう説明しますか。ワークシートの「しつけとは」「虐待とは」に続く言葉を書きましょう。</li> <li>・どのように書いたか、グループ内で紹介し合いましょう。</li> </ul>
まとめ	<p><b>【ワーク3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことに気づき、どう考えましたか。</li> <li>・グループ又は全体で共有しましょう。</li> <li>・これからの生活にどんなことが活かせそうですか。</li> </ul>

## ワークシート「しつけ? 虐待?」

- 1 ①～⑧の内容は、「しつけ」「虐待」のどちらですか。当てはまるところに○を付けましょう。どちらか迷う場合には、「分からない」に○を付けましょう。

番号	内容	しつけ	分からない	虐待
①	子供がベランダの手すりに上って遊んでいたのを発見したので、「危ない。」と大声で叫び、すぐに引きずり下ろした。			
②	子供が言うことを聞かなかったので、「いい加減にしなさい」と言いながら、おしりを叩いた。			
③	子供に嘘をつかないように注意したことがあったが、また嘘をついたので、罰として、今日は『昼食抜き』にした。			
④	兄が妹に意地悪をしたので、「そんな子は、うちの子じゃない。この家から出て行きなさい。」と怒鳴りつけた。			
⑤	節約のため、3姉妹の末っ子には、「姉達が使った学用品や服を使用するように。」と日頃から伝えている。			
⑥	近所の子供が夜中に外にいたので家まで送っていくと、その家の父親に、「この子は約束を破ったから、我が家のルールで外に出している。そのままにしておいてくれ。」と言われ、扉を閉められた。			
⑦	隣の家から、母親の「～って言ったでしょ。何でできないの。」という怒鳴り声と、子供が「ごめんなさい。ごめんなさい。」と言いながら泣いている声がよく聞こえる。			
⑧	子供の友達を、母親から「家族の一員として家の仕事をするのは当たり前。」と言われ、買い物、洗濯、ゴミ出し、お風呂掃除を毎日やっている。			

- 2 「しつけとは」と「虐待とは」に続く言葉を書きましょう。

しつけとは、
虐待とは、

- 3 どんなことに気づき、どう考えましたか。

## 学習例 4 高齢者の人権について考えよう

対 象 中学生から高校生

ねらい

- ・高齢者の人権問題について理解を深める。
- ・高齢者の人権問題を防いだり解決したりする方法を考える。

留意点

- ・生徒の身の回りの例やニュースなど、身近なものから考える。
- ・生徒の身近な例を挙げる場合、高齢者のプライバシーに気を付ける。

進め方

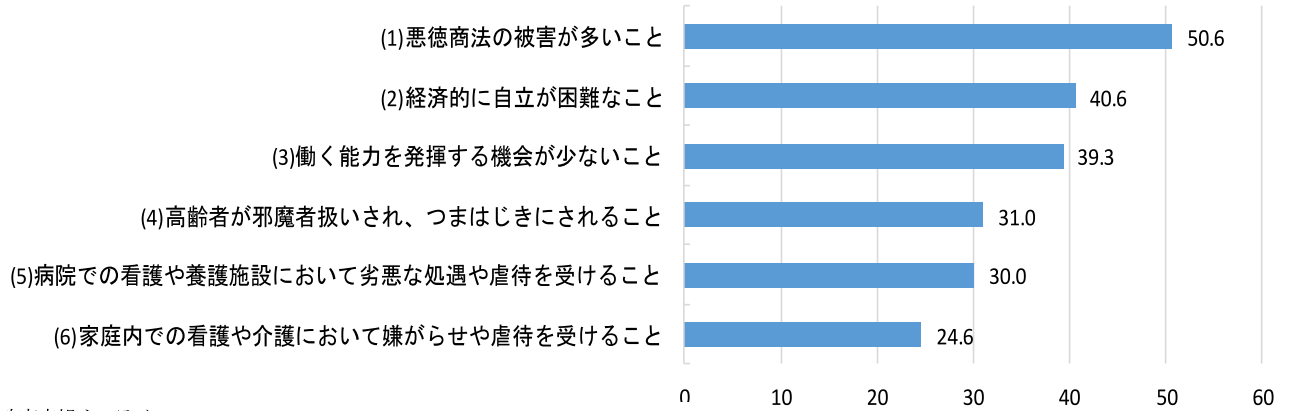
流れ	展開と内容
導入	アイスブレイク
展開	<p>【ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料】は高齢者に関する人権問題についてまとめたものです。あなたが問題だと思うことはどれですか。 (身の周りの例を挙げる場合、個人のプライバシーへの十分な配慮を行う。)</li> </ul> <p>【ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク1で挙げた問題を解決するには、どのようにしたらよいか、考えましょう。</li> </ul> <p>【ワーク3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ問題を挙げた人同士でグループになって、解決策を考えましょう。</li> </ul>
まとめ	<p>【ワーク4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことに気づき、どう考えましたか。</li> <li>・あなたは、高齢者と共生するために、社会の一員として何ができるか考えましょう。</li> <li>・グループ又は全体で共有しましょう。</li> </ul>

# ワークシート「高齢者の人権について考えよう」

## 【資料】 高齢者に関する人権問題

複数回答 総数=1,864人

### 高齢者に関する人権



「政府広報オンライン」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201309/2.html#anc02> より

出典：内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年8月)

- 1 【資料】は高齢者に関する人権問題についてまとめたものです。あなたが問題だと思うのはどれですか。

- 2 1で挙げた問題を解決するには、どのようにしたらよいか考えましょう。

- 3 同じ問題を挙げた人同士でグループになって、解決策を考えましょう。

- 4 あなたは、高齢者と共生するために、社会の一員として何ができるか考えましょう。



## 学習例5 心のバリアフリー だれもが暮らしやすい社会に

対 象 小学校高学年から高校生

ねらい

- ・ 障害者を取り巻く社会のバリアを解消するための法律や様々な取組を知り、誰にも優しく、あらゆる人が共生できる社会を作ることの大切さに気付くとともに、自分たちにできることについて考える。

留意点

- ・ 学習者の実態に応じて、発達障害等の学習内容に配慮する。
- ・ 浜松視覚特別支援学校 PTA「点字ブロック啓発キャンペーン」ポスターを活用する。
- ・ 静岡県「心のバリアフリー～障害者差別解消法がめざす共生社会の実現～」動画またはDVD（静岡県健康福祉部障害者支援局障害者政策課）を活用する。DVDは静岡県教育委員会の貸出の他、動画共有サイトで視聴可能である。

進め方

流れ	展開と内容
導入	アイスブレイク
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰もが安心して暮らすことのできる社会を考えます。</li> <li>・ 5～6人のグループを組みましょう。【資料1】は、どのようなことを伝えようとしているか、グループで話し合しましょう。（この資料は「点字ブロック啓発キャンペーン」で浜松視覚特別支援学校のPTAが作成しました。）</li> <li>・ 障害のある人が社会で感じるバリアについて、【資料2】「心のバリアフリー～障害者差別解消法がめざす共生社会の実現～」の「1. 障害者差別解消法について」「2. 世の中に存在する「バリア」とは？」を全員で視聴しましょう。（約6分）</li> <li>・ もう一度聞きます。【資料1】はどのようなことを伝えようとしていますか。</li> <li>・ グループから一人ずつ担当を決めて、「3. 合理的配慮の事例紹介」の各事例ごとに集まり、視聴しましょう。（タブレット端末等を使用）</li> </ul> <p>A 視覚障害編(約4分) B 聴覚障害編(約2分) C 肢体不自由障害編(約1分) D 内部障害編(約1分) E 障害のある人が働くための支援の取組について(約3分)</p> <p>【ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループに戻って、各自が視聴した事例の内容について、障害のある人がどのようなバリアに困っていて、どのようなことを望んでいるか、気付いたことや大切だと思ったことを紹介し合しましょう。</li> </ul> <p>【ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループのメンバーの話を聞いて（ワーク1）、「気付いたこと」や「どんなことができるか」について話し合しましょう。</li> </ul>
まとめ	<p>【ワーク3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの生活に活かしたいことを、ワークシートに書きましょう。</li> <li>・ グループ又は全体で共有しましょう。</li> </ul>

【資料1】



ワークシート

**心のバリアフリー  
だれでも暮らしやすい社会に**

- 1 資料1は、どのようなことを伝えようとしているでしょう。
- 2 動画を見て、気付いたことや大切だと思ったことを書きましょう。
- 3 グループのメンバーの話聞いて気付いたことを書きましょう。
- 4 私たちにはどんなことができるか、考えたことを書きましょう。
- 5 これからの生活に活かしたいことを書きましょう。

【資料2】

動画内容

静岡県「心のバリアフリー  
～障害者差別解消法がめざす共生社会の実現～」

- 1 障害者差別解消法について
- 2 世の中に存在する「バリア」とは？
- 3 合理的配慮の事例紹介  
 視覚障害編／聴覚障害編／肢体不自由障害編／  
 内部障害編／自閉症スペクトラムなどの発達障害編／  
 障害のある人が働くための支援の取組について
- 4 ナビゲーター織田友理子が語る  
 「心のバリアフリーとは」



(全体 20:58)